

レニーと学ぼう!

ミニメド™700シリーズ インスリンポンプサークル

Insulin pump Circle

ポンプ編

1
No.

「カニューレ閉塞(詰まり)の原因と対策を正しく理解しましょう」の巻

Q カニューレの詰まりの原因は？
対策や予防はどうすればいいの？

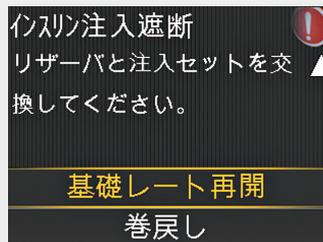
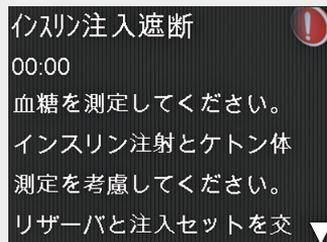


A カニューレの詰まりは、**注入セットの不適切な装着や留置**によって起こることが多いです。高血糖を防ぐためにも正しい使い方を身につけることがとても大切です。



詰まりを知らせるインスリン注入遮断アラームとは？

カニューレあるいはチューブの屈曲などが原因で回路が閉塞し、その閉塞圧をポンプが検知した時に発生するアラームです。



注意 詰まりによるアラームはすぐに鳴らない可能性があります。

- カニューレ交換の失敗により就寝中に閉塞が起こる可能性があるため、就寝前にカニューレを交換しないでください。
- 就寝中など、閉塞圧の検知に相当な時間がかかることがあります。
- カニューレの部分閉塞やカニューレが体の外に出ているなどの場合、アラームは発生しません。
- アラームが発生していなくても異常な高血糖を確認したら閉塞の可能性を疑うようにしてください。

血糖自己測定を定期的に行うことが大切です!

Medtronic

インスリン注入遮断アラームが発生したら

速やかに血糖値を測定し、高血糖の場合はインスリン注射で補正してください。
新しいリザーバとチューブに交換してください。

*インスリン注射：ペン型注入器等
高血糖時のインスリン量などは主治医と相談しておきましょう



インスリン注入遮断アラームが鳴らないのに血糖値が高い場合は？

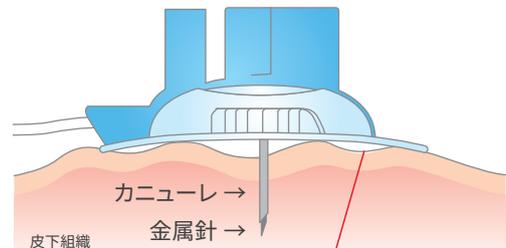
- カニューレや注入セットのチューブまたはリザーバとの接続部分に問題があり、インスリンが漏れている
- 装着部位に問題がありインスリンの吸収がうまく行われていない

☑ カニューレ部分の確認事項

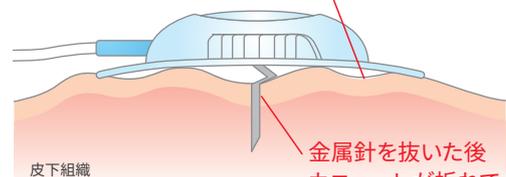
- 注入セットは2～3日以内で交換していますか？
- 装着部位を毎回変えていますか
- 皮膚がかたくなっている部位を避けて装着していますか？
- 皮下でカニューレはまっすぐ留置されていますか？
皮膚とシールの間に隙間ができないよう、皮膚を伸ばして装着することが大切です。
- 皮下組織の薄い部位を避けて装着していますか？
詰まりが多く発生する場合には、シルエット(斜め刺しタイプ)への変更を検討してください。

誤ったカニューレの留置状態

装着前に皮膚にヨレがあると...



皮膚との間に隙間(微かなヨレ)ができてしまっている

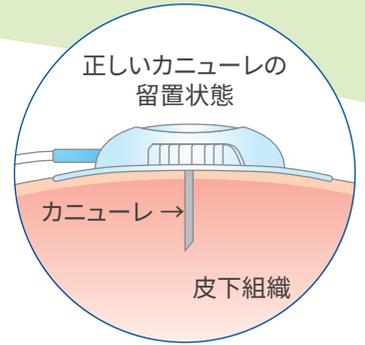


☑ チューブまたはリザーバとの接続部分の確認事項

- チューブ部分に折れ曲がり・詰まり・ねじれがないことを確認できましたか？
- 接続部分に注入を妨げる物がないことを確認できましたか？
- チューブとカニューレ部分の接続部分を外して、チューブ先端からインスリンが出てくることを確認できましたか？

Check point!

カニューレの詰まりの原因の多くは、**注入セットの不適切な装着や留置**が影響しています。トラブルを防ぐために、下記内容を十分ご確認ください。

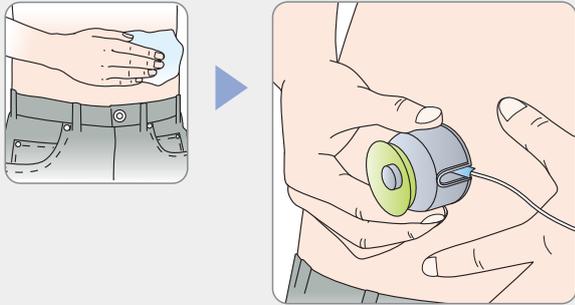


- 1 皮膚がかたくなっていない**適切な部位**を選択し、留置部位は**毎回変える**。
- 2 クイックセットをクイックサーターに**しっかり固定**し、**皮膚をつままずに皮膚を伸ばして装着**する。
※装着の方法がとても重要です。慣れるまで医療従事者による十分な教育を受けましょう。
- 3 カニューレが**根元まで**入っていることを確認し、粘着テープで**しっかり固定**する。
- 4 インスリンが適切に注入されていることを確認するため、**カニューレ留置2時間後に血糖自己測定で血糖値を確認**する。
- 5 **1日4回^{*}以上、血糖自己測定**を行う。
※血糖自己測定の回数は、主治医にご相談ください。
- 6 接続部のずれや外れ、チューブの折れ曲がり・詰まり・ねじれ、インスリンの漏れがないことを**常にチェック**する。
装着部が濡れていたり、インスリンのにおいがしたりする場合、カニューレの抜けや接続不良が疑われる。接続部をチェックし、**カニューレの抜けや接続不良が疑われる場合は、注入セットを交換**する。
- 7 インスリンポンプによるインスリン注入ができない場合に備え、**緊急セット(インスリンペン型注入器やインスリン用注射器など)を必ず携帯**する。
ご家族やご友人、職場の方へ緊急セットの保管場所を知らせておく。
※詰まりによる注入セットトラブルの他、水没・落下などによる故障や災害時のためにも備えてください。
- 8 緊急事態の対処方法を予め主治医と決めておく。
※高血糖時の対処方法、インスリンポンプ以外の予備の注入方法などについて医療機関へご相談ください。

Let's try!

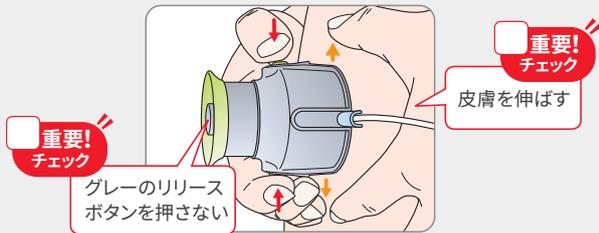
カニューレの詰まりによる高血糖を防ぐためにも、クイックセットを正しく装着・留置することが大切です。

1 消毒し、皮膚を伸ばす



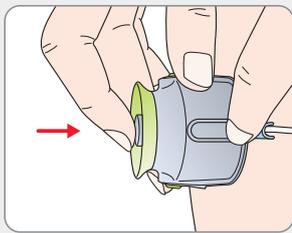
アルコール消毒をし、チューブの位置がクイックサーターの下部または横側にくるように置き、**皮膚はつままずに伸ばします。**

2 2つの緑のボタンを同時に押す



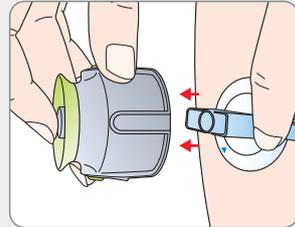
2つの緑のサイドボタンを同時に押します。

3 グレーのボタンを押す



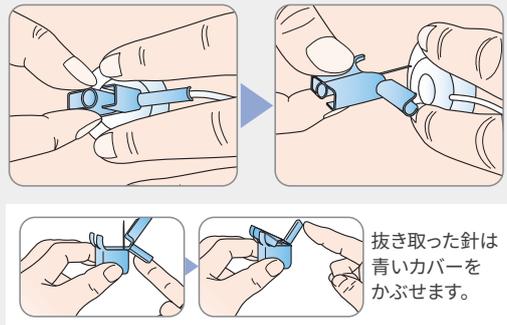
グレーのリリースボタンを押し、クイックセットとクイックサーターの固定を解除します。

4 押さえながら引き上げる



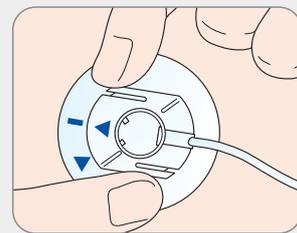
青いプラスチックの部分を押さえながらクイックサーターを引き上げます。

5 引き抜く



抜き取った金属針は折り畳み、医療廃棄物として廃棄します。

6 固定する



粘着テープを押さえ、しっかりとテープを固定します。

製品を安全にご使用いただくため、必ず電子添文とユーザーガイドを併せてご確認ください。

ポンプアクセサリショップ



日本メドトロニック株式会社
ダイアビータイス
〒108-0075 東京都港区港南1-2-70

medtronic.co.jp

LINE公式アカウント



販売名:メドトロニック ミニMF 700シリーズ
医療機器承認番号:30300BZX00256000
販売名:パラダイム リザーバー
医療機器製造販売届出番号:13B1X00261D00001
販売名:インスリンポンプ 注入セット
医療機器承認番号:225ACBZX00013000

© 2023 Medtronic. Medtronic, メドトロニック及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。 DIAB2308-26

ポンプやリアルタイムCGMの使用法、アラーム対処、ポンプアクセサリショップなどについてのご質問は、下記へご連絡ください

日本メドトロニック コール ミニ コール
24時間サポートライン **0120-56-32-56**

製品の使用方法やよくある質問などをご紹介します。

www.medtronic.com/minimed780g

パソコン、スマートフォンやタブレット端末からもアクセスできます。



マイポンプ MyPUMPに必ずご登録ください

製品を安全にお使いいただくための情報提供を行うサービスです。

